

切りだす光に包まれる
切り絵の展覧会

柴田あゆみ

かみがみの森



2023年2月17日(金) → 27日(月)
大阪高島屋 7階グランドホール

入場料(税込)：一般 800円(600円) / 大学・高校生 600円(400円) / 中学生以下無料

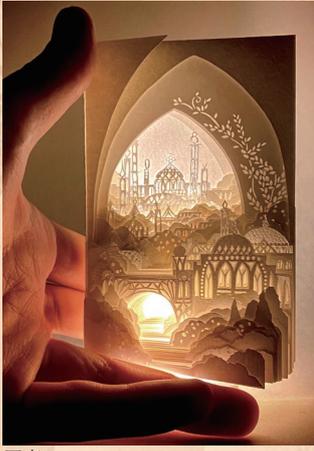
【ご入場時間】午前10時～午後6時30分(午後7時閉場)
※最終日2月27日(月)は午後4時30分まで(午後5時閉場)
※会場の混雑状況により入場制限をさせていただく場合がございます。

※()内は前売りの割引料金。前売券はセブンチケット(セブンコード:098-917)、ローソンチケット(Lコード:56576)にて
1月21日(土)から2月16日(木)までお求めいただけます。
※当催については、「障がい者手帳・デジタル障がい者手帳」をご提示いただいたご本人様、ならびに、ご同伴者1名様まで入場無料と
させていただきます。※安全のため、小学生以下のおこさまは必ず保護者の方ご同伴でご入場ください。

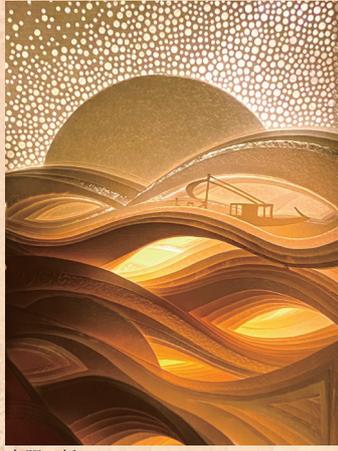
 **Takashimaya** OSAKA

企画制作：柴田あゆみ かみがみの森 製作委員会

〒542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL 06-6631-1101



回廊



太陽の船



旅人の本



夜のしっぽ

森羅万象のなかにかみ（精霊や魂などのマナ）が宿るといふ日本人の自然崇拜をもとに、紙を使い作品を創りだす

かみは時間、時空を超え、万物の中に宿るといふ考えから、多くの物や事柄に対し「畏敬や畏怖の念を抱く」といふ考え方があり

またそれは、ものを大切にするという考え方につながり

さまざまなものにかみが寄りつくと考え、依り代として祀ってきた

便利で安価な紙は、我々の生活に欠かせない身近な素材としてさまざまな用途で使用されている

しかし、このありふれた1枚の紙は、時としてのちが宿る宝にもなりうる

わたしたちは万物、自然、さまざまなものに生かされている感謝と畏敬の念を忘れずに共存することができるよう、思いを込めて作品を切りだす

かみ

PROFILE



柴田あゆみ

AYUMI SHIBATA

神奈川県横浜市に生まれる。

2007年にニューヨークに移り、National Academy School of Artにて版画とミクストメディアを習得。

2015年よりパリに移り、パリ市運営のアトリエ59リポリにて2年間の展示と制作活動を行う。

2018年より日本を拠点として活動中。同年、イタリア・ミラノ マルペンサ空港での大型作品の展示や、ドイツ国際ペーパーアートトリエンナーレにて入選。

2019年には金沢21世紀美術館での世界工芸トリエンナーレにて入選。

2020年には4か月にわたる大型展示を富士

川・切り絵の森美術館にて開催。同年より、継続して森山良子氏コンサートツアーの舞台美術を、すべて手切りにて制作・監修。

2022年、丸の内KITTEにて世界最大級サイズの総手切り作品“大地のうた”を展示。同年12月以降、全国を巡り個展を開催予定。

GOODS

会場限定書籍
2,420円九谷焼豆皿
あむ/葉
(直径約13cm)
各1,980円箸置き
あむみ/はね 黒/はね 白/しげみ
(直径約4cm)
各550円

※品数に限りがございますので、売切れの節はご容赦ください。
※価格は消費税を含む総額にて表示しております。

※都合により、催し内容・会期などが変更になる場合がございます。
最新の情報は大阪高島屋のホームページをご覧ください。

展覧会公式サイト <https://www.kamigamino-mori.com/>

